

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第1回 栄小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年 5月 16日(金) 19:00 ～ 20:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ

(委員長より)

- ・この会は、意見を出すことに意味がある。特に、保護者の意見は参考になる。気軽にご意見をいただきたい。

- ・最近の感染症等の傾向についての情報共有

(学校長より)

- ・学校の方は、4月より大きな問題もなく、良いスタートが切れた。
- ・令和8年4月より郡山小・天名小・合川小が再編され天栄小学校になる。また、令和14年には栄小学校も加わって義務教育学校になる予定。

4 協議事項

- ・学校運営協議会要綱の確認
- ・組織図の確認
- ・本年度の学校運営の改革方針について(承認)

(1) 学力向上、ICTに係る取組について

- ▶「徳・知・体の調和のとれた豊かな人間性と、自ら学び、ともにつながり、やり抜く力を持ったこどもの育成」を学校教育目標として、全教職員が一体となった組織的な学校運営を推進する。
- ▶令和6年度のみえスタディ・チェックは、4年生(現5年生)の国語・算数で正答率がアップし、5年生(現6年生)の1回目の国語と、2回目の国語・算数で正答率がアップした。また、県平均よりも高い結果となっている。
- ▶本年度は、個別最適な学びや協働的な学びの推進に向け、天栄中学校区の全ての小中学校において、文部科学省の委託事業「リーディング DX スクール事業」を受けて取り組んでいる。

(委員より)

- ▶正答率の低かった部分は、難しい学習もあるが、各学年の学習の基礎・基本をしっかりとやってほしい。
- ▶具体物をしっかりと触って経験することで学びを深めることが大切。
- ▶ICTでは学力向上は難しい。教職員の校務のICT化は有用である。

(2) 不登校支援について

- ▶校務分掌表に不登校支援コーディネーターを位置づけ、ケース会議や支援会会議の充実を図る。また、スクール・ライフ・サポーターやスクール・カウンセ

セラー等を活用しながら関係機関と連携して取り組んでいく。

(委員より)

- ▶ 以前と比べて本校は不登校が改善してきている。
- ▶ 不登校をゼロにするのは難しいが、本人がどこかにつながっていることが大事である。

### (3) 非認知能力の育成について

- ▶ 非認知能力（社会性、自制心、自己肯定感、やり抜く力等）の育成は、日常の教育活動の中で自然にはぐくまれるものであるが、意図的な働きかけが効果的であると考え、日常の授業、学級経営、特別活動や行事、教師のかかわり方等の場面において育成を図る。

(委員より)

- ▶ 自制心ややり抜く力、自己肯定感と関わって、スマホやゲームなどがやめられない子どももいるかと思うが、親子でルールを決めることが大切。まずは、そのような会話ができる親子関係を築くことが重要である。

### (4) 地域連携について

- ▶ 天栄中学校区での連携した取組として、「学びよつながれ！プロジェクト」や天栄中学校区の小学校交流（5年生）などを進めていく。また、地域コーディネーターと連携をとり、学校ボランティアの積極的活用を図る。

(委員より)

- ▶ 教科学習の中において、学校ボランティアの活用を進めていけるとよい。

### ・令和7年度の全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック等について

- ▶ 令和7年度の全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの実施後、すぐに結果の分析を行い、学校全体で共通理解を図った。特に、正答率が低かった問題については、誤答の傾向を数値化して示し、学習する学年の授業にすぐに反映するよう取組を進めている。

(委員より)

- ▶ 正答率が低い問題を分析してまとめてある資料があることで分かりやすく、共通理解が図れる。

### ・学校要覧について

### ・危機管理マニュアルについて

### ・令和7年度配当予算について

## 5 その他

- ▶ 本年度の学校運営協議会の予定の確認
- ▶ 第2回学校運営協議会開催日の確認